

AMCoR

Asahikawa Medical University Repository <http://amcor.asahikawa-med.ac.jp/>

看護研究集録 (2012.09) 平成21年度:89～90.

精神発達遅滞患者のストーマケアにおける多職種協働によるチームアプローチ

横井瑛美、熊谷真紀、鈴木理絵、瀬川澄子、日野岡蘭子

021

精神発達遅滞患者のストーマケアにおける 多職種協働によるチームアプローチ

旭川医科大学病院 6階東ナースステーション
横井 瑛美,熊谷 真紀,
鈴木 理絵,瀬川 澄子
旭川医科大学病院看護部入退院センター
日野岡 蘭子

I.目的

精神発達遅滞患者のストーマ造設術に
おける周手術期の看護と退院調整機能
における看護師の役割を明らかにする

II.方法

1.対象

性別:女性
年齢:30歳代
疾患:ヒルシュスプルング病による巨大結腸症。
精神発達遅滞のため16年前より
施設に入所。
性格:人見知り, 照れ屋。
音楽鑑賞,ぬいぐるみで遊ぶことを好む。
意思疎通は可能で検査には協力的。

II.方法

2.経過

2003年:腹痛と腹部膨満感のため導気を
繰り返す
2009年:結腸切除術+人工肛門造設術施行。
手術の認識:怖いもの・痛いもの、
手術という言葉を知ると興奮する、
暴れる, 大声で叫ぶ, 逃げ出す
という反応を示した。

II.方法

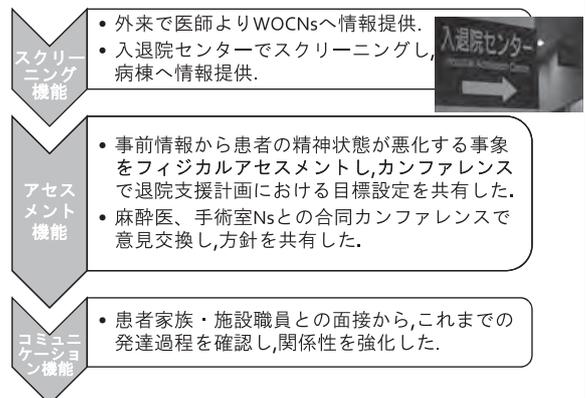
3.データ収集方法:

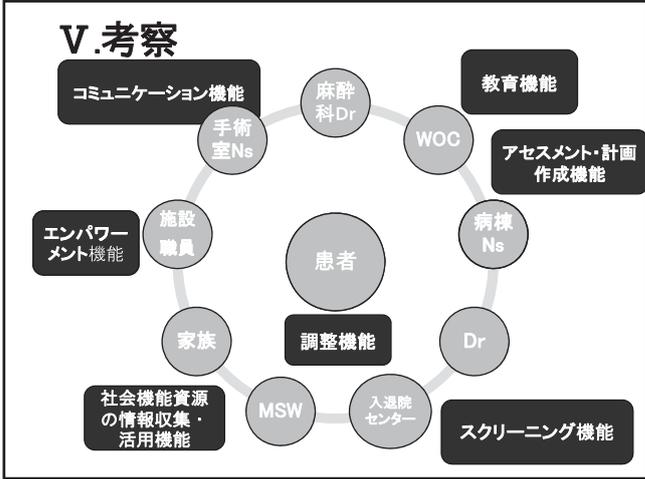
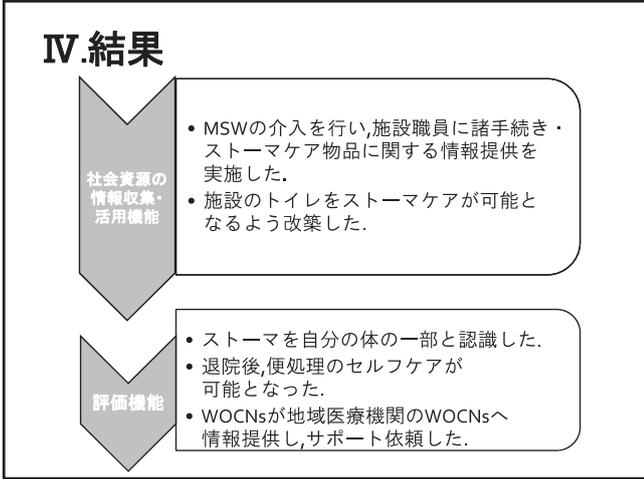
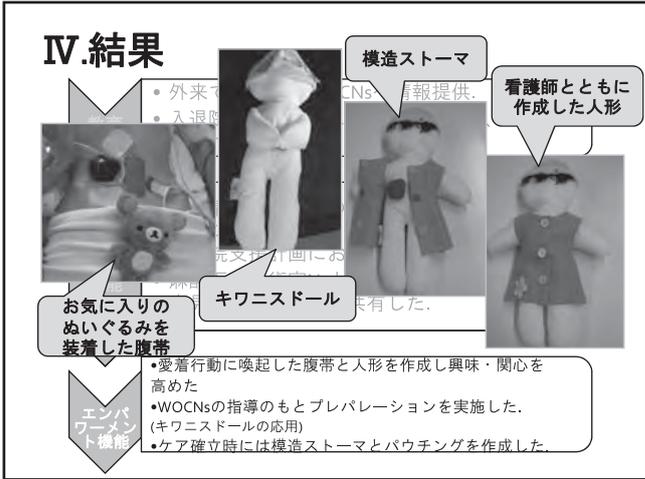
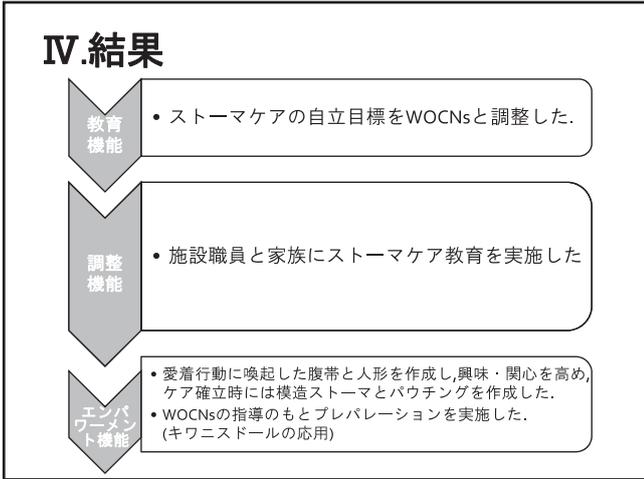
医師・看護師・他職種による入院前,手術前後の記録を
退院調整看護師の役割と機能の8つの視点⁹⁾から抽出
した。

- 1)スクリーニング機能
- 2)コミュニケーション機能
- 3)アセスメント・計画作成機能
- 4)教育機能
- 5)調整機能
- 6)エンパワメント機能
- 7)社会資源の情報収集・活用機能
- 8)評価機能

篠田道子:退院支援システムの構築と退院調整看護師の役割看護,日本看護協会出版会P44-47,Vol.60
No.11,2008.

IV.結果





VI.結論

- 1.術前からのケアマネジメントは周手術期におけるリスクアセスメントとなり手術の危機を回避することができた。
- 2.キワニスドールの応用は、ストーマの存在に安心感を与えた。ストーマを身体の一部と捉え排泄経路の変更を理解することができた。
- 3.病棟看護師は、他職種と連携し退院調整支援をすることが重要である。